

海岸清掃の日

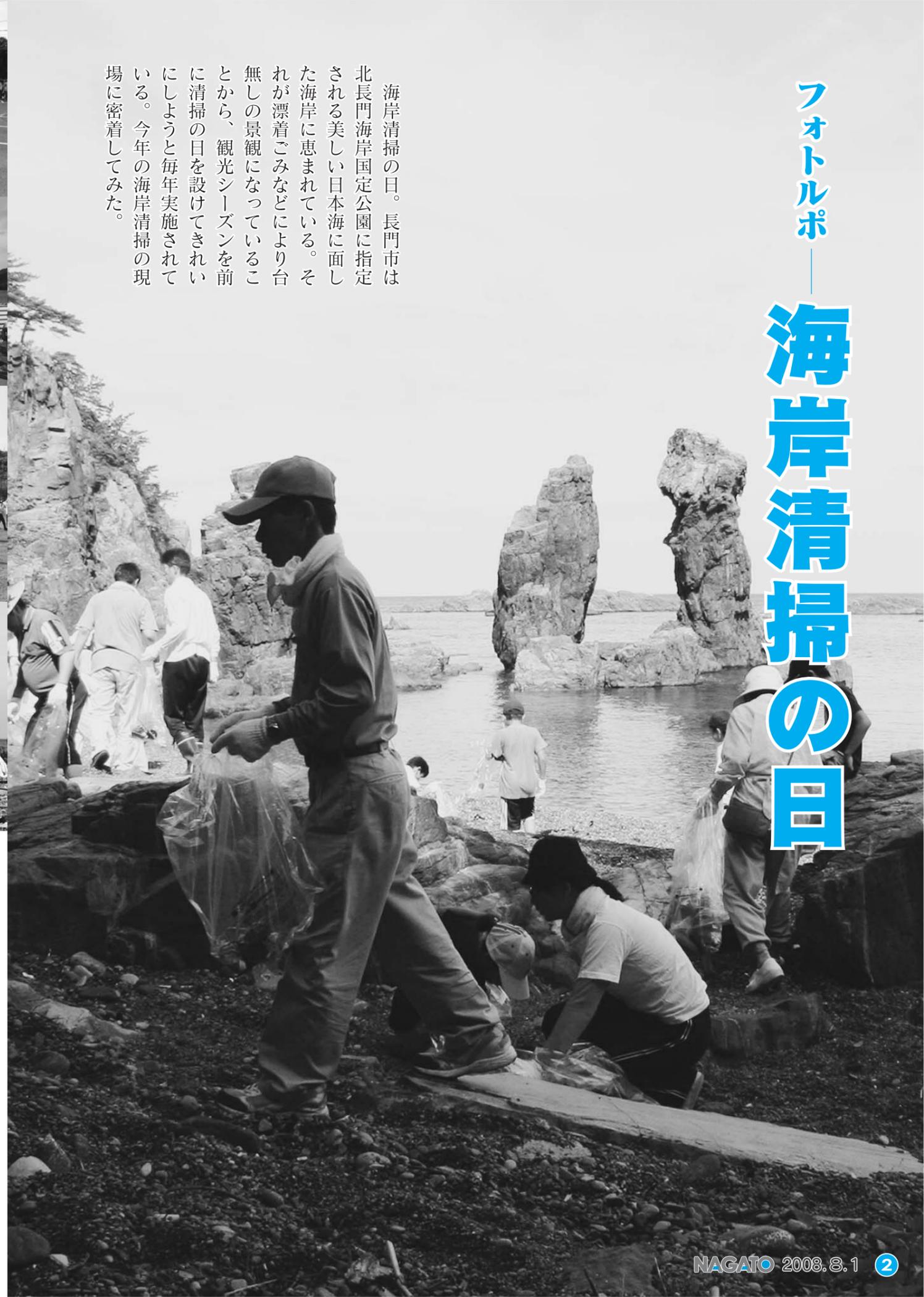
海岸清掃の日。長門市は北長門海岸国定公園に指定される美しい日本海に面した海岸に恵まれている。それが漂着ごみなどにより台無しに景観になっていることから、観光シーズンを前に清掃の日を設けてきれいにしようとして毎年実施されている。今年の海岸清掃の現場に密着してみた。



清掃が行われた海岸の位置図



①中の浦(青海島) ②あいさつをする松林市長(青海島) ③ごみ拾いの仕方の説明(さわやか海岸) ④駐車場に集合した参加者(大浜) ⑤ごみを拾う参加者(静ヶ浦) ⑥くぼ地にはたくさんのごみがたまっていた(大浜) ⑦大量の藻が漂着していた(さわやか海岸) ⑧親子でごみを拾う参加者(大浜)



7月6日(日)、今年も海岸清掃の日が実施された。梅雨が明けたのか、朝からきびしい暑さだ。しかも湿度が高い。暑い一日になりそう。取材予定の海岸へ車を走らせ、駐車場へ着くと、すでに多くの参加者のみなさんが到着していた。こんなにたくさんの人たちが「ながとの海岸」をきれいにしようとして集まっているのだ。後の集計でわかったのは、この日の参加者は9カ所の海岸で約1600人。青海島では、市長が参加へのお礼とともに「私たちの海を美しく後世に残していきたい」とあいさつをした。

駐車場で説明の後でゴミ袋を持っていっせいに海岸に降りる。むっとするほどの砂の照り返しだ。すぐに汗びっしょりになる。燃えるごみと燃えないごみを分けて袋に入れていく。小さな子どもたちの姿も見える。一所懸命にごみを拾っている。1時間も浜にいと暑さのせいで立っているだけでもきつい。みんな黙々とごみを拾う。駐車場に戻ってみると大きなゴミ袋の山ができていた。

参加してみてもどんな気持ちなのだろう、ある人に尋ねてみた。「昨年から参加しています、こんなにたくさんごみがあるの



◆**海洋汚染の現状**
平成19年に第七管区海上保安本部が確認した海洋汚染の発生件数は61件で、その内訳は、油による汚染32件、油以外によるもの（廃棄物、工場排水等）27件、赤潮2件となっています。このほか、毎年冬場を中心に

私たちの海を守る！ 仙崎海上保安部から

美しく青い海は多くの命を育み、私たちの心を豊かにしてくれるかけがえない財産です。しかし、一度汚れてしまった海を元どおり美しくすることは容易ではありません。海上保安庁では、「海洋汚染発生状況調査」、「海上環境事犯監視取締り」、「指導・啓発活動」の3つの方法を組み合わせ、未来に青い海を残すため、さまざまな取り組みを続けています。

日本海沿岸にハンゲル文字が表示されたポリ容器の漂着が確認されています。これら漂着ポリ容器の中には、危険物である強酸性の硝酸及び塩酸等の内容物が残っているものもあります。また、針の付いたままの注射器や内容物の残っている薬品瓶などの医療廃棄物の漂着も確認されています。

これら危険な漂着物を発見した場合には、むやみに触らず、長門市役所や仙崎海上保安部に通報をお願いします。

◆**海上環境事犯監視取締り**
平成19年の第七管区海上保安本部管内における海上環境関係法令違反の件数は、142件でした。仙崎海上保安部においても、

平成19年は、4件の海上環境法令違反があり、引き続き廃棄物や廃棄物などの不法投棄事案などを摘発するため監視取締りを強化していくことにしています。

◆海洋環境保全のための指導・啓発活動

海洋汚染の多くは人為的要因により発生しており、海洋汚染を防止するためには市民一人ひとりの海洋環境の保全に関する意識を高めることが必要です。

海上保安庁では、「海洋環境保全講習会」や「訪船指導」を実施しているほか、一般市民及び未来を担う子供達を対象とした「海洋環境保全教室」などを実施しています。仙崎海上保安部でも、地元保

育園児や小学生を対象とした海洋環境保全教室、地域の皆さんや小、中、高等学校などと連携した海岸清掃及び漂着「三分類調査」を実施し、長門の海を

日置農業高校を表彰

山口県立日置農業高等学校は、海水浴客が多数訪れる県内有数のマリンスポーツスポットとして地域住民の憩いの場となっている。二位ノ浜海岸において、自然環境を守るための海岸清掃活動を40年以上にわたって取り組んできました。

この活動に対し、同校は、平成20年7月22日(火)、海洋環境の保全に多大な貢献があったとして、第七管区海上保安部長から表彰を受けました。

海洋環境保全教室

平成20年6月4日(水)と5日(木)、「海洋環境保全推進月間」の取組みの一環として、長門市内の大浦、久津、黄波戸、菱海、日置各保育園において海洋環境保全教室を実施しました。

教室では、環境パネルの紹介、環境紙芝居「うみがめまりんのだいぼっけん」、イメージキャラクター「うみまる」・「うみん」による環境クイズなどにより、海洋環境保全思想の普及に努めました。



①清掃前の只の浜②清掃後の只の浜③清掃前の二位の浜④清掃後の二位の浜⑤集まったごみ（さわやか海岸）⑥集まったごみ（船越）

平成20年度 長門市海岸清掃の日実績

場所	参加者数*	燃えるごみ	燃えないごみ
静ヶ浦、中ノ浦、船越	300人	450kg	220kg
波の橋立	205	1,080	70
さわやか海岸	270	1,950	30
床の浜	63	1,280	130
只の浜	180		60
小松原	180	560	90
二位ノ浜	100	810	60
水尻（小島含む）	150	1,270	50
大浜	150	2,080	120
合計	1,598	9,480	830

*参加者数は概数です



に驚いたのと同時に少し残念に思いました。でも海岸がきれいになれば気持ちがいいですね。また来年も参加します！」参加した人たちの思いはみな同じなのかもしれない。自分がふるさとにできることをする。その思いが重なることにふるさととは輝きを増していくのだろう。

次の日、取材に行くことができなかった只の浜と二位ノ浜に向かった。そこで目にしたものは、ごみひとつない海岸だった。前日にはあれほどたくさんあったごみが文字通りひとつ残らずなくなっていた。驚くほどきれいな海岸である。これからたくさん海水浴客がこの浜を利用するだろう。ごみのない浜で気持ちよく過ごすに違いない。そして長門のいい思い出を胸に帰路へつくことだろう。これは、この日みんなが流した汗のおかげだ。

この日収集されたごみは、燃えるごみと燃えないごみを合わせて10トン余りにもなった。海岸清掃の日以外にも自治会で独自に実施しているところもあるという。しかし一年経てばまたごみは漂着するだろう。来年もそしてその先も一人でも多くの参加者があって、この海岸清掃が続いていくことを祈った。美しいふるさと長門のために。

きれいにする取り組みを行っています。

■問い合わせ 仙崎海上保安部
TEL 26・0240
もしもの時は、118番へ！